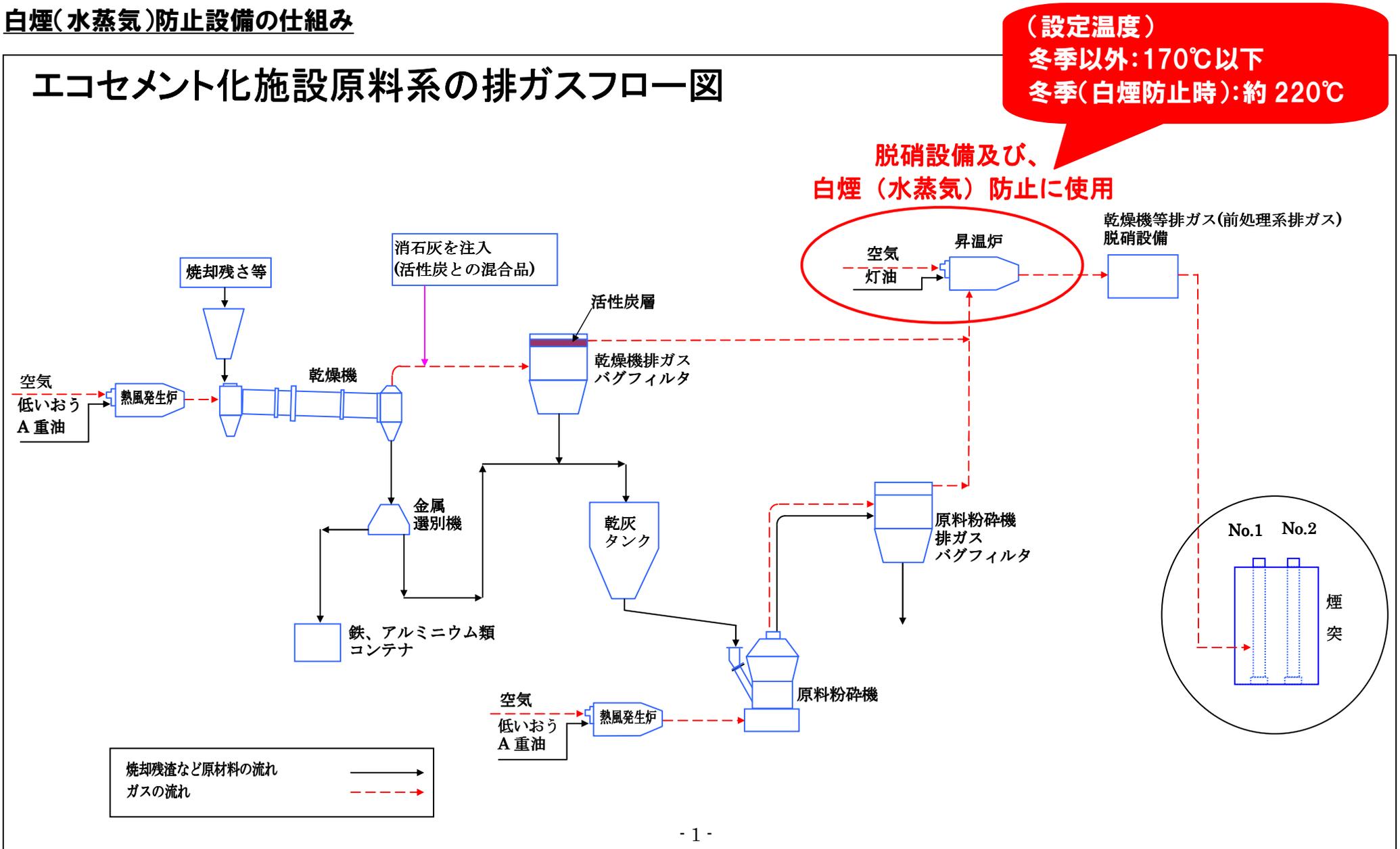


白煙（水蒸気）発生時における排ガス状況報告書

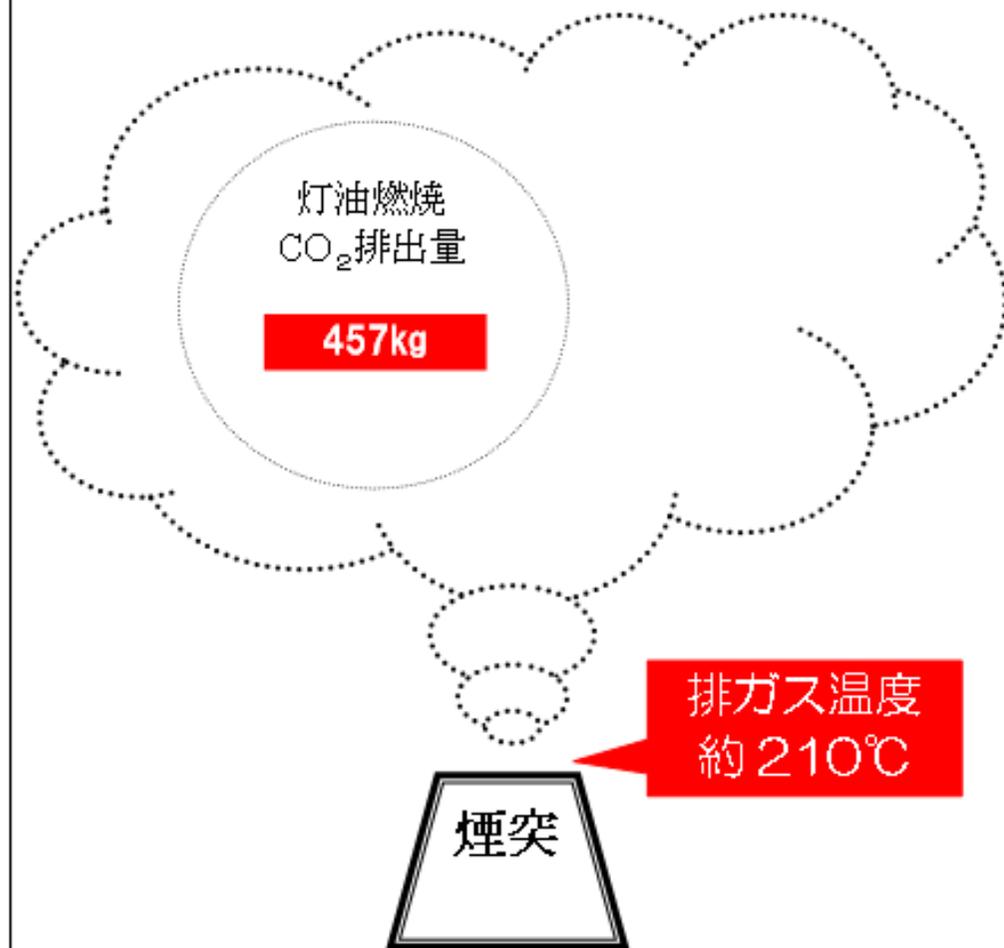
白煙(水蒸気)防止設備の仕組み

エコセメント化施設原料系の排ガスフロー図



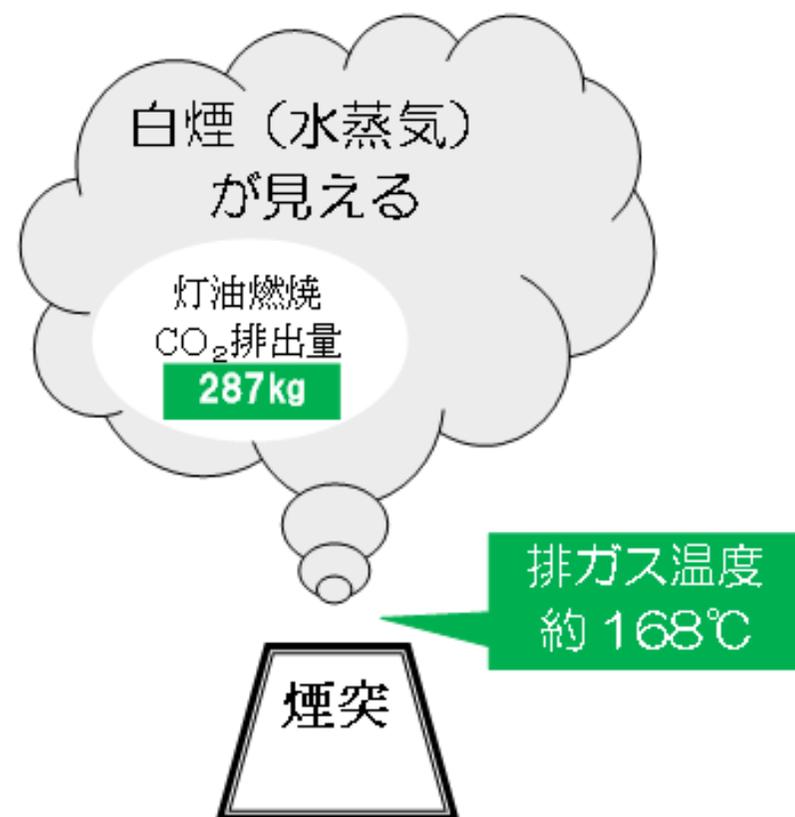
白煙（水蒸気）防止している場合

※白煙（水蒸気）防止設備を運転しても、気象条件が温度4℃（煙突頂部）、湿度60%（地上）の場合には、見えるときがある。



白煙（水蒸気）防止しない場合

※冬季には、白煙（水蒸気）が見えるようになる。



※平成21年1月18日から24日までのデータ

排ガス温度（平均値）	209℃
1時間あたりの灯油燃焼量（平均値）	180ℓ
灯油の燃焼によるCO ₂ 発生量	457kg

※平成21年10月18日から24日までのデータ

排ガス温度（平均値）	168℃
1時間あたりの灯油燃焼量（平均値）	115ℓ
灯油の燃焼によるCO ₂ 発生量	287kg

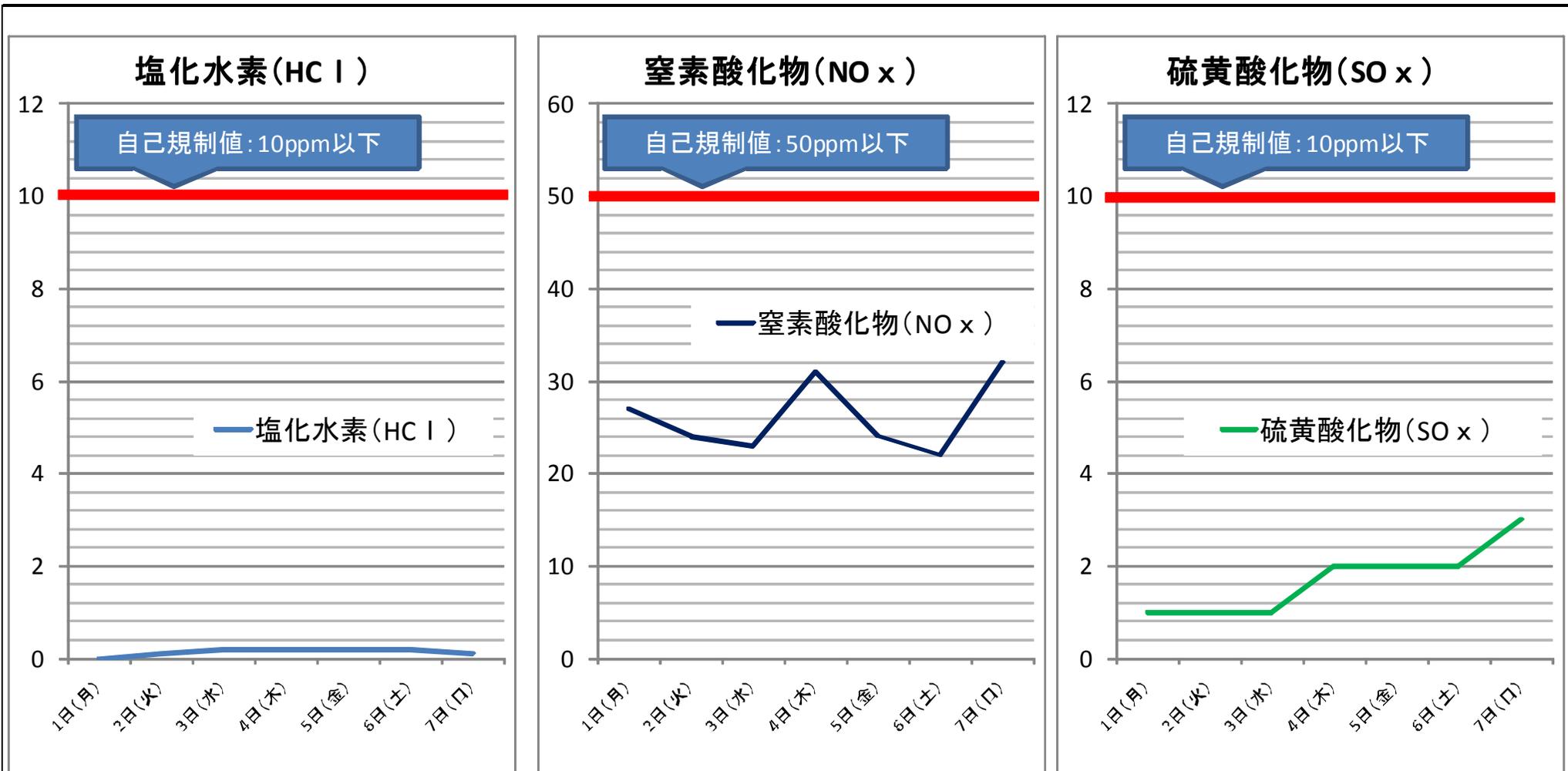
昇温炉における排ガス状況変化の試験結果（220℃及び170℃）

窒素酸化物濃度の低減効果の検証結果

測定期間	平成22年1月18日～24日			平成21年10月18日～24日		
設定温度・運転時間	220℃・137時間			170℃・116時間		
項目	最小	平均	最大	最小	平均	最大
最低温度(青梅)	-1.5	1.3	5.8	9.4	11.0	12.6
排ガス温度	191	209	231	160	168	172
HCl	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
NO_x	0.0	26.2	42.8	0.0	8.4	18.4
SO _x	0.0	2.0	7.2	0.0	0.0	0.0
灯油燃焼量	100	180	200	70	115	140

(考察) NO_xは排ガス温度を下げた方が良いことが判明。
 → 昇温炉のサーマルNO_xの抑制量 > 脱硝能力の低下量

■乾燥系排ガス環境測定データグラフ【2月1日(月)から7日(日)まで】



※この週で、水蒸気が可視煙（白煙）として確認できたのは、2月1日（月）及び2日（火）、3日（水）、4日（木）である。



白煙（水蒸気）が見えても、排気ガスの環境データは問題なし。